

超早期発見と先端医療社会の構築

「がん撲滅サミット2016」へのご支援のお願い

福島県立医科大学医学部放射線腫瘍学講座主任教授

先端がん免疫治療学講座教授

鈴木義行

すずき

よしゆき



団塊の世代がいわゆる「がん年齢」に到達しつつあること、また、高齢者人口の増加に伴う悪性腫瘍(がん)の罹患者数の増加などから、悪性腫瘍(がん)による総死亡者数は増加の一途をたどっている。しかしながら、意外に感じる方も少なくないかと思うが、悪性腫瘍(がん)の死亡率(年齢調整)は、医学の進歩による治療法の改善や早期発見の増加により、

女性では約50年以上も前(1960年代)から、男性でも約20年も前(1990年代後半)からほぼ一貫して減少しており、今後も治療成績はさらに改善していくと推測されている。現在では、単に治るだけの治療でなく、負担や苦痛の少ないがん治療法の開発が進んでいる。

がん免疫療法が世界的に広がる

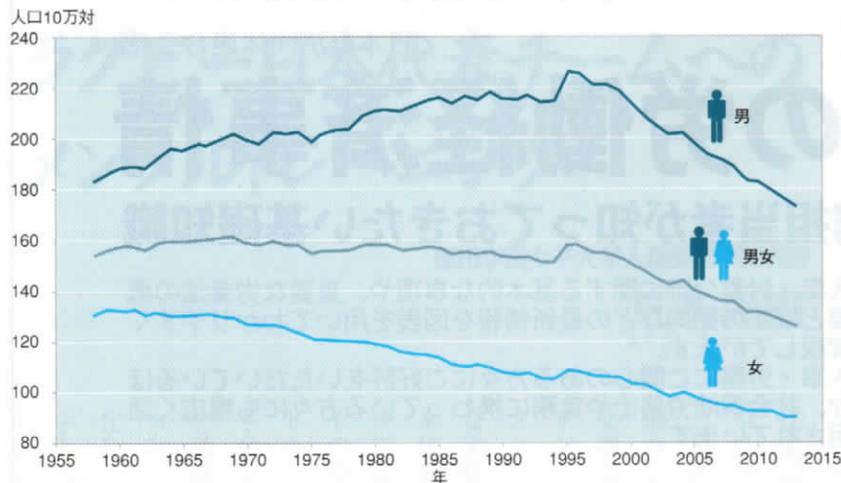
がん治療における最近のトピックとしては、2011年、「Cancer immunotherapy comes of age(がん免疫療法の時代がやってきた!!)」のフレイズとともに、免疫チェックポイント

阻害剤(抗CTLA4抗体など)の劇的な効果が次々と報告され、免疫療法が、手術・放射線・化学療法に次ぐ第4のがん治療法として、瞬く間に世界的に認知されるに至ったことが挙げられる。わが国でも、2014年7月に免疫チェックポイント阻害剤の1つである「オプジーボ[®]」(一般名:ニボルマブ「抗PD-1抗体」)が悪性黒色腫に対して保険適

用となり、2015年12月には肺がんに対しても保険適用となった。今年度中には「わが国で最も売れている抗がん剤」となることが予測されている。

さらに、オプジーボ[®]の他のがん種への適用拡大、抗PD-1抗体などの新たな免疫チェックポイント阻害剤の開発、これら免疫チェックポイント阻害剤と放射線や化学療法との併用療法の試みなど、現在のがん治療に関する研究は、当面の間、免疫チェックポイント阻害剤およびその補助療法を中心として進むことが想定されている。免疫療法は、長い間期待を裏切り続け、「肩唾^{まあば}」と評価されてきた歴史があるが、免疫チェックポイント

図表 部位別がん年齢調整死亡率の推移



出所：国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター
http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/annual.html

阻害剤の成功により完全にその屈辱を晴らしたといえる。がん治療にかかわる医師・研究者は、自分たちの専門領域の治療法に固執することなく、免疫療法を含め「集学的」に治療法の開発を進めていくことが期待されている。

産学官が一体で純国産の創薬・治療法の開発を

ところで、この画期的な新薬である免疫チェックポイント阻害剤「抗PD-1抗体の開発」は、1992年、京都大学医学部の本庶佑名誉教授らのグループがPD-1を発見したことに始まる。国内の製薬メーカーと共同で開発を進め、上市まで約20年かかっている。創薬研究に携わる医師・研究者にとっては、20年は決して長いとはいえないかもしれないが、新たな治療法を望むがん患者にとっては、あまりにも長すぎることは明白である。創薬研究における、研究開発成果が製品に結び付かないという、いわゆる「死の谷」の問題解決については、これまでもさまざまな議論がされてきたが、わが国の産学官が一体となって、「死の谷」をスムーズに乗り越えるシステム構築をさらに推進・強化していけば、純国産の創薬・治療法の開発などがますます進んでいくと考えられる。

横浜「がん撲滅サミット2016」を開催

さて、私が所属している「がん撲滅サミット2016実行委員会」では、がん治療のさらなる改善を目指し、10月22日

(土)、パシフィコ横浜・国立大ホールで、第54回日本癌治療学会学術集会と共催で「がん撲滅サミット2016」を主催する。大会長

による開会宣言・学術講演の後、東日本大震災復興5周年記念企画として、竹之下誠一・福島県立医科大学先端臨床研究センター長による学術講演、立谷秀清・福島県相馬市長による文化講演、マイテック社・長谷川克之氏による「リアル下町ロケット―血液1滴3分間！がん判定チップ開発秘話―」などが予定されている。また、和泉洋人・内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生並びに健康・医療に関する成長戦略担当)、および二川一男・厚生労働事務次官によるによるスペシャル講演が行われる。このほか、がん治療の最先端エキスパート6名が登壇し、会場参加者から寄せられたがんに関する相談をリアルタイムに受ける「公開セカンドオピニオン」を行う。そして、最後に、日本癌治療学会・会員有志オーケストラによる、東日本大震災の被災地復興支援ソング「花は咲く」の演奏と「横浜宣言」を誓い閉会となる。

経団連会員の皆様におかれましては、当活動に対するご理解・ご支援をいただけますよう、また、お時間が許せば、ぜひ、会場まで足をお運びくださいますよう、よろしくお願いたします。

(注)詳細は、がん撲滅サミットHP(<http://cancer-zero.com/>)参照